

事務局からのお知らせ

(1) 行事報告

i) 第14回 WHEC (モントリオール) 報告会

平成14年7月25日(水曜日)13:15より学士会館において第14回 WHEC 報告会を開催。

ii) 団体会員特別見学会

平成14年9月19日14:00~6:00、茨城県大洗の原子力研究所を訪問。原研における水素製造試験関連施設を見学。

iii) 第106回定例研究会

平成14年9月27日、日本教育会館にて開催。講演は、「PEM燃料電池の学習曲線によるコスト分析」と題してシステム技術研究所所長梶屋治紀氏、「『水素・燃料電池実証プロジェクト』における水素ステーションの建設」と題してエンジニアリング振興協会 WE-NET 推進室長小関和雄氏によってなされた。講演予稿は本誌に資料として掲載している。

iv) MH 利用開発研究会特別講演会

平成14年10月28日、大阪府立大学にて「水素エネルギー社会の実現へ-高密度水素貯蔵・利用への挑戦-」を協賛で開催。

v) エネルギー特別講座

平成14年11月27日、虎ノ門パストラルにて「水素エネルギー技術の動向とその導入シナリオ-燃料電池技術から水素エネルギー技術への展開-をエネルギー・資源学会との協賛で開催。

vi) 第22回水素エネルギー協会大会

平成14年12月11日、12日の両日、東京工業大学にて開催。370名を超える参加者を数え盛会であった。

vii) 第107回定例研究会 :

平成14年12月11日、12日水素エネルギー協会大会の講演として開催。4件の講演予稿は本誌に資料として掲載している。

(2) 行事予定

下記の行事を計画しております。ご参加下さい。

i) 第108回定例研究会

平成15年2月27日(木)、日本教育会館にて開催。

(3) 国際会議のお知らせ

1) Hydrogen & Fuel Cells 2003 Conference and Trade Show

Date: June 8-11, 2003

Place: Canada, Vancouver

Web: www.hydrogenfuelcells2003.com

2) 6th International Conference on New Energy Systems and Conversions

Date: June 23-27, 2003

Place: Busan, Korea

Web: www.nesc2003.com

3) New Materials for Electrochemical Systems

Date: July 6-11, 2003

Place: Montreal, Canada

Web: www.newmaterials.polymtl.ca

4) APBioChEC

Date: July 30-August 2, 2003

Place: Brisbane, Australia

Web: www.ccm.com.au/apbiochec/

5) European Hydrogen Energy Conference

Date: September 2-5, 2003

Place: Grenoble, France

Web: www.afh2.org

6) HYPOTHESIS V

Date: September 7-10, 2003

Place: Porto Conte, Italy

Web: www.hypothesis.ws

7) The 15th World Hydrogen Energy Conference

Date: June 27-July 2, 2004

Place: 横浜, 日本

Web: www.whec15.jp

(5) ドイツ水素エネルギー協会 (DWV) へのインターネットアクセス

DWV事務局のU. Schmidtchen氏が編集する水素および燃料電池関係の非常にホットなヨーロッパ、アメリカのニュースが英語で提供されています。以下のアドレスでアクセスをお試し下さい。

水素および燃料電池関係のニュースのアドレス

<http://www.HyWeb.de/gazette-e>

ドイツ水素エネルギー協会のアドレス

Ulrich Schmidtchen
German Hydrogen Association (DWV)
Unter den Eichen 87, 12205 Berlin, Germany
Telefon: (+49-30) 8104-4402, Fax: -3433
Internet:
<http://www.bam.de/partner/dwv/hydrogen.html>
E-Mail: dwv@bam.de

(6)入退会のお知らせ (14年7月1日~14年12月15日)

1) 新入会員

団体会員:

サムテック株式会社 (庵ノ前博文)
株式会社ジャパンエナジー (青山竹文)
バブコック日立株式会社 (広本昌彦)

個人会員:

井東廉介 (石川県農業短期大学外国語研究室)
程島真哉 (東京理科大学工学部)
神谷祥二 (川崎重工業株式会社 技術研究所)
岡野一清 (HESS 理事)
加藤修一 (参議院議員)
村上功 (株式会社村上技研産業)
槌屋治紀 (株式会社システム技術研究所)
小島隆二 (NOK 株式会社)
五藤靖志 (積水化学工業株式会社)
川村欽一 (小松川化工機株式会社)
稲垣和則 (株式会社十川ゴム)
阿部真丈 (那須電機鉄工株式会社)
石田康人 (イーエナジー株式会社)

学生会員:なし

2)退会会員

団体会員: なし

個人会員: 笛木和雄

3)現在会員数

団体会員: 34 社、個人会員:118 名、学生会員:1 名

(7)会員増強に対するお願い

国内外では以前にもまして水素エネルギーに対して熱い目が向けられてきております。そこで、この機会をとらえますますの会員の増強をはかり、更に活動の充実を図りたいと考えております。会員の関係者で、水素エネルギーに興味のある方または応援して頂けそうな方々にお声を掛け入会のお誘いをし

て頂けたら有り難いと思っております。本会の活動及び入会の案内は、本紙の後半に記載されておりますので、宜しくお願い致します。

(8)水素エネルギーニュース発行について

年2回の会誌の発行のみでは、なかなか水素に関する情報をタイムリに会員の皆様にお届けできないという反省に基づいて、水素エネルギー協会編集委員会では、「水素エネルギーニュース」を不定期の発行ですが皆様にお届けしております。ご期待頂きたいと思えます。また、会員諸氏からの忌憚りの無いアドバイスを心よりお待ちしております。併せ、情報の提供をして頂けたら幸いです。連絡先は、下記「広告掲載のお願い」の欄に記した所です。

(9)『資料』の掲載について

メーカーが自社の製品(ただし、水素エネルギーに関するもの)を有料(1万円/頁:最大3頁)で紹介出来るページを設けました。是非とも皆様および関係者の参加をお願い致します。

(10)広告掲載のお願い

会誌及びシステム研究会前刷集に掲載する広告を募集しております。1頁当たり3.5万円です。ご希望の方は、下記編集委員会事務局までご連絡下さい。

連絡先:

横浜国立大学教育人間科学部内
水素エネルギー協会編集委員会事務局
担当: 谷生 重晴、吉岡 芳子
TEL:045-339-3996 FAX:045-339-3996
E-mail: secretary@hess.jp
Web: www.hess.jp

以上